



JAL不当解雇撤回ニュース

No464号 2015.10.30
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL:03-3742-3251 FAX:03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.co>

10月 解決迫りJALに要請!



10/1 けんり総行動・国交省前

郵政ユニオン東京地本石川副委員長
JAL を利用したが新人ばかりで安全に着陸するか不安だった。不当な首切りが「利用者の不安」を増大させている。株式上場する企業として全ての争議を解決すべき。



中部全労協青柳議長 弁護士でもある管財人が法律を犯してまでやった解雇を見逃ごしにして言い訳はない。地方空港の乱造、天下り先として JAL を食べ物にして責任も取らない国交省、再建の為、もっと主体的に動け。
CCU 吉田副委員長 新人ばかりで余裕のないフライト、パワハラは横行し、モノがいない職場で不安全事例が続いている。会社はその場しのぎ、職場の問題を解決する意思がない。国交省は空の安全の為、指導すべき。



10/8 定例本社前要請行動

月1回の要請行動、今月も門前払い。要請中にも関わらず、「お帰りください」という失礼な対応に声を荒げる場面もありました。

大田区労協小林事務局次長 一企業の問題ではない。全ての労働者を雇用不安に陥れた。雇用を守る闘いを支持する。520名の命を奪いながら、「利益無くして安全なし」とは冗談じゃない。航空会社は「安全第一」国民から信頼され、そこに存在価値がある。

航空連近村議長 123便事故の夜ロンドンに向け出発し、翌日尾翼の一部が欠損したジャンボ機の写真を見て愕然とした。あの時誓った、「絶対安全」のためには「安定した労使関係」「現場第一主義」は不可欠である。

10/23 東京争議団総行動

品川労協柴山事務局長

JAL はなぜ「一緒に頑張ろう」と言えないのか。言いなりの労組だけでやりたい放題、時代錯誤の労務政策、こんなことでは、また潰れてしまう。

大阪市役所職員労働組合田所委員長

橋下の人権侵害・組合潰しと闘っているのは、職場を良くしたいから、これは原告団と同じ。経験者を理由もなく解雇する企業に未来はない。

内田団長 JAL 最近の重大な不安全事例4件を組合が指摘するまで隠していた。736名の犠牲者を出し、毎日命と財産を預かっているのに安全問題を隠すという企業体質、皆さまの支援により再建してきたのにどうしようもない。ILOも異常な人材流出、国会答弁、行訴判決を深刻に受け止め、年末交渉を見ている。



要請中に山口団長が中華航空の採用説明会に40名のJALパイロットが参加したこと、また規制緩和で今までは100回以上あった実機での離着陸訓練が10回程度で定期便に投入されている現実を話したら、対応する垣田氏は眼を丸くしていたとのこと。これでアメリカンエアラインのように空中で機長が急死したら……。「雇用」「航空」の規制緩和で「安心・安全」が縮小されてる現実がここにあります。